



# **Xenon 1900/1910**

---

エリアイメージング スキャナ

## **クイック スタート ガイド**

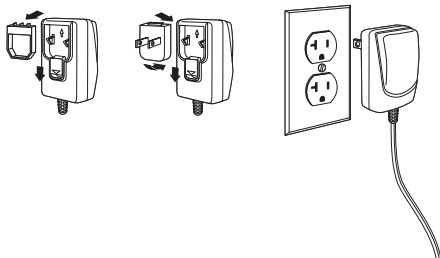
注記： 装置のクリーニングについては、ユーザズガイドを参照してください。

本ガイドの他言語版をお求めの場合は、当社ウェブサイト [www.honeywellaidc.com](http://www.honeywellaidc.com) をご覧ください。

## はじめに

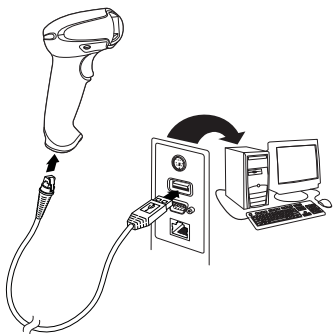
スキャナを接続する前にコンピュータの電源をいったんオフにし、スキャナの接続を完全に行った後、コンピュータの電源を再度オンにします。

## 電源の組み立て（付属している場合）

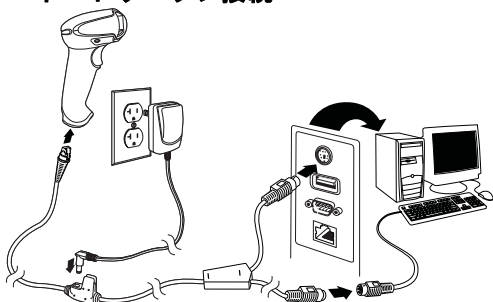


注記： 必要に応じて、電源アダプタを別途ご購入いただく場合があります。

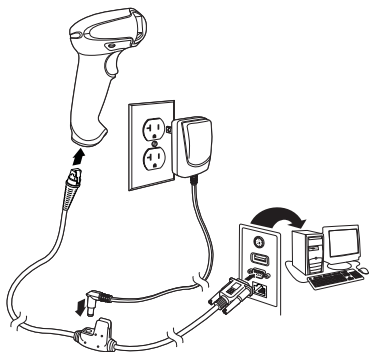
## USB 接続



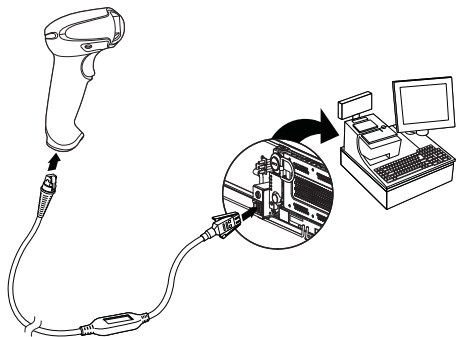
## キーボードウェッジ接続



## RS232 シリアルポート接続



## RS485 接続



## 読み取り方法

右のように、ビューファインダからエイミングビームが投射されます。エイミングビームは、バーコードの中央に合わせますが、よく読み取れるよう、いずれの方向からでも当てることができます。



バーコードの上にスキャナを当てトリガーを引き、バーコードの中央にエイミングビームを合わせます。

エイミングビームは、スキャナをバーコードに近づけると小さくなり、バーコードから遠ざけると大きくなります。正しく読み取るために、小さなバーコードの場合はスキャナを近づけ、大きなバーコードの場合はスキャナを離して当てます。

バーコードの反射性が高い場合（ラミネートされている場合など）は、バーコードをスキャンできるように、スキャナを斜めに当てなければならない場合があります。

## 標準の製品デフォルト設定

次のバーコードをスキャンすると、標準の製品デフォルト設定がすべてリセットされます。



標準の製品デフォルト設定

## RS485 インターフェイス

RS485 インターフェイスはポート 5B にデフォルト設定されています。ポート 9B を使用する IBM POS 端末がある場合、以下の適切なコードをスキャンして、端末をプログラムし、キャッシュレジスタの電源を切って再度オンにしてください。



IBM ポート 9B HHBCR-1  
インターフェイス



IBM ポート 9B HHBCR-2  
インターフェイス

注記： 別のRS485 インターフェイスの選択については、当社ウェブサイト [www.honeywellaidc.com](http://www.honeywellaidc.com) で該当する製品のユーザーズガイドを参照してください。

## USB シリアル

次のコードをスキャンしてスキャナをプログラム設定し、標準の RS232 ベースの COM ポートをエミュレートします。Microsoft® Windows® PC を使用している場合は、Honeywell のウェブサイト ([www.honeywellaidc.com](http://www.honeywellaidc.com)) からドライバをダウンロードする必要があります。ドラ

---

イバは次に使用可能な COM ポート番号を使用します。Apple® Macintosh コンピュータは、スキャナを USB CDC クラス デバイスとして認識し、クラス ドライバを自動的に使用します。



USB シリアル

注記： その他の設定 ( ボーレートなど ) は不要です。

## USB キーボード (PC)

次のコードをスキャンして、スキャナを USB キーボード (PC) 用にプログラム設定します。



USB キーボード (PC)

## 国別キーボード

キーボードをお使いの国に合わせてプログラムするには、次の「**国別キーボードのプログラム**」バーコードをスキャンし、13 ページに記載されている数字のバーコードをスキャンします。そして最後に、「**保存**」バーコードをスキャンします。原則として、米国以外の国ではスキャナで次の文字はサポートされていません。

@ | \$ # { } [ ] = / ' \ < > ~



国別キーボードのプログラム

国コード	スキャン	国コード	スキャン
ベルギー	1	イタリア	5
デンマーク	8	ノルウェー	9
フィンランド	2	スペイン	10
フランス	3	スイス	6
ドイツ/ オーストリア	4	米国 (デフォルト)	0
英国	7	日本	28



保存



注記： 国コードの全リストについては、当社ウェブサイト [www.honeywellaidc.com](http://www.honeywellaidc.com) で該当するユーザーズガイドを参照してください。

## トリガー

次のバーコードをスキャンすると、手動トリガー – 標準モード（読み取るときにトリガーを引く）またはプレゼンテーションモード（スキャナがバーコードを認識するとアクティブになる）でスキャナを使用できます。



手動トリガー – 標準  
（デフォルト）



プレゼンテーションモード

## Streaming Presentation™

Streaming Presentation モードになっている間は、スキャン照明が常に点灯し、バーコードが継続的に検索されます。



Streaming Presentation モード

## サフィックス

バーコードの後にキャリッジ リターンを追加する場合は、「CR サフィックスの追加」バーコードをスキャンします。バーコードの後にタブを追加するには、「タブ サフィックスの追加」バーコードをスキャンします。サフィックスを削除するには、「サフィックスの削除」バーコードをスキャンします。



CR サフィックスの追加



タブサフィックスの追加



サフィックスの削除

## すべてのシンボル体系へのコード ID プレフィックスの追加

コード ID プレフィックスをすべてのシンボル体系に一度に追加するには、次のバーコードをスキャンします。



すべてのシンボル体系へのコード ID プレフィックスの追加  
(一時設定)

注記：コード ID の全リストについては、当社ウェブサイト [www.honeywellaidc.com](http://www.honeywellaidc.com) で該当する製品のユーザーズガイドを参照してください。

## 機能コードの送信

この設定が有効で、スキャンされたデータに機能コードが含まれていると、スキャナはその機能コードを端末に送信します。これらの機能コードについてのチャートは、ユーザーズガイドに記載されています。スキャナがキーボード ウェッジ モードになっている場合、スキャンコードは送信される前にキーコードに変換されます。



有効  
(デフォルト)



無効

## データ フォーマット エディタの手順

データ フォーマットを入力するための簡単な手順は次のとおりです。詳細な手順については、当社ウェブサイト [www.honeywellaidc.com](http://www.honeywellaidc.com) でユーザーズ ガイドを参照してください。

1. データ フォーマットの入力シンボルをスキャンします。
2. 基準/代用フォーマット: 基準フォーマットの場合は **0** をスキャンします。
3. 端末タイプ: どのような端末タイプの場合でも **099** をスキャンします。
4. コード ID: どのようなバーコードタイプの場合でも **99** をスキャンします。
5. 長さ: どのような長さのバーコードの場合でも **9999** をスキャンします。
6. エディタ コマンド: 次の「プログラミング チャート」を使用します。
7. **保存** をスキャンして入力内容を保存します。



データフォーマットの入力



すべてのデータフォーマットの消去



保存

## プログラミング チャート





8



9



A



B



C



D



E



F



保存

---

## **EZConfig-Scanning™**

スキャナの追加機能にアクセスするには、オンライン設定ソフトウェア ツールの EZConfig-Scanning をお使いください。当社ウェブサイト [www.honeywellaidc.com](http://www.honeywellaidc.com) でダウンロードできます。

## **テクニカル サポート**

テクニカル サポート、製品サービス、および修理の連絡先は、[www.honeywellaidc.com](http://www.honeywellaidc.com) をご覧ください。



---

## 限定保証

保証については、当社ウェブサイト [www.honeywellaidc.com/warranty\\_information](http://www.honeywellaidc.com/warranty_information) を参照してください。

## Disclaimer

Honeywell International Inc. (“HII”) reserves the right to make changes in specifications and other information contained in this document without prior notice, and the reader should in all cases consult Honeywell to determine whether any such changes have been made. The information in this publication does not represent a commitment on the part of HII.

HII shall not be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein; nor for incidental or consequential damages resulting from the furnishing, performance, or use of this material.

This document contains proprietary information that is protected by copyright. All rights are reserved. No part of this document may be photocopied, reproduced, or translated into another language without the prior written consent of HII.

©2010-2012 Honeywell International Inc. All rights reserved.

ウェブサイト : [www.honeywellaidc.com](http://www.honeywellaidc.com)